

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

養豚編

今年の夏は、少なくとも7月末まで猛烈な暑さとなり、また、向こう1ヶ月は平年より平均気温が高くなる見込みです。適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。

○豚舎の環境改善

- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、日光による舎内温度上昇を抑える。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- 扇風機についた埃や蜘蛛の巣を取り除き、風量を回復させる。
- こまめな除糞で、発酵熱やアンモニアの発生を抑え、衛生害虫の発生を予防する。
- 畜舎周りの下草刈りや片付けをして、風通しを良くする。
- 風の通り道が一方向に流れるように窓の開け方を工夫する。

○豚への暑熱対策

- 適正な飼養密度を守り、体熱の放散を促進させる。
- ニップルから十分に水が出ているか等、飲水装置の点検整備を実施する。
- 健康観察を徹底し、異状の早期発見に努める。

ペットボトルと氷水を活用した暑熱対策

- 手順① 2Lのペットボトルに8分目くらい水を入れて凍らせる。
(満タんだと破裂します。)
- 手順② 紐等で授乳母豚の首筋～肩の上に逆さにして吊す。
(母豚の届かない高さに吊します。)
- 手順③ 無くなったら取り替える。
(涼しくなるまで繰り返し実施しましょう。)

山梨県東部家畜保健衛生所

(平日の連絡・・・電話・・・055-262-3166 / FAX・・・055-262-3108)

(夜間・土日・休日の連絡・・・090-5535-8005)

(土日・休日の連絡・・・090-5544-7868)